

企業間のきずなを深めるために



〈執筆者〉

水上消防団新港分団

副分団長 本田 康夫

わが新港分団は、神戸港の新港第一突堤から第八突堤までを範囲として活動しています。活動区域には、海沿いの倉庫街や点在する歴史的建造物など、古い港町の雰囲気を感じることのできるエリアがあり、中でも第四突堤(神戸ポーターミナル)は、日本最大の客船用ターミナルとしても知られています。

わが分団の特徴は、団員全員が、港湾の企業に従事する者で構成されているという点です。地域の性格上、企業間による連携が必要不可欠となりますので、お互いに協力し合いながら、いざというときに備えています。

活動内容としては、定期的に小型ポンプ操法の訓練を実施しています。もちろん、ほかの各消防団でも実施している、年末特別警戒の参加や夏の花火大会警備など、地域におけるイベント警備のサポートなどにも参加します。

そして今年も、水上消防署の協力により、夏期研修に参加しました。消防器具操法・消火器具取扱訓練・救急訓練・ロープ結索・規律訓練を受け、新しい機器の取り扱い方法を習得するなど、忘れかけていたことを改めて認識し、有事に即対応できる研修内容は、とても参考になりました。

このような知識を基に、各企業におい

ても分団員が率先して防火活動についての訓練を実施し、防災の意識を高めてもらえたらと思っています。

また、地域の活動の場合は、お互いのコミュニケーションが必要であると考え、年1回、親睦を深める意味で、懇親会や勉強会を実施しています。最近の情報や企業内での取り組みなどの情報交換をすることで、今後の消防団活動に生かせるのではないかと考えています。

今後は、実際に災害が起きた場合に対応できる人材を確保することが課題となりますので、それに向けてさらに努力するなど、今まで以上にチームワークを大切にして、関係団体と交流を深め、さらなる防災力の向上に努めていきたいと思えます。

